

<第2議案>

2008年度収支決算（案）

8～9ページの2008年度収支計算書（自2008年1月1日 至2008年12月31日）と貸借対照表（2008年12月31日現在）をもって、2008年度収支決算とする。

<説明>

2008年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

08年は、常勤スタッフ2人体制を前提に、当年度収支差額約111万円の赤字を見込んでいたが、収入・支出ともに予算を下回り、結果、約23万円の上方修正となる約88万円の収支赤字となった（予算比で約36万円の収入減、約59万円の支出減）。

ピースデポ財政の実態を見やすくするために、繰越金欄には、将来計画のために保有している将来計画資金（当年度繰越金の時点で約980万円）を除いた額を示した。また、2008年度に発生した、将来計画資金からの支出は別枠で示した。さらに、2008年に発生した2007年度（07年7月～08年3月）及び2008年度（08年7月～09年3月）宜野湾市調査委託契約にかかわる収入、支出についても別枠で示した。これらを勘案すると、2009年度予算への繰越金は、貸借対照表上では約1,074万円であるが、実質的には表の決算欄の「次年度繰越金」に計上されている約141万円である。

2. 会費収入について

会員・購読者の正味増40口（賛助会員相当）を目標としたが達成できず、年会費、購読料、入会金のすべてにおいて予算を下回ったことから、会費収入全体で予算比約43万円の減となった。

3. 事業収入・支出について

イアブック08の収入は予算比約41万円減、支出は予算比約3万円減であった。結果として実質収入については、約17万円（予算比約38万円の減）と、目標を達成できなかった。予算化していたピースデポ・ブックレットは年度内に刊行できず、予算比で約60万円の収入減、40万円の支出減となった。講演・執筆収入、公開講演会・セミナー収入はともに予算を上回ったものの、公開講演会・セミナー費支出は予算比で約33万円増となった。

4. 寄付金収入、助成金収入、雑収入について

夏季、冬季、海外派遣カンパすべてにおいて目標額を達成し、予算比で約62万円増となった。助成金は予算通りの100万円を獲得することができた。

5. 管理費、予備費について

管理費全体としては、予算比で約31万円の減となった。年度途中での常勤スタッフ体制の変更ともなう給与・手当経費の減（約49万円）などによるものである。